

平成16年度 山形市教育研究所 情報教育推進に係る調査研究
教育コンテンツを活用した授業実践

情報教育推進調査研究 研究員

齋藤 隆 史 (山形市立第六小学校教諭)

遠藤 光 男 (山形市立東小学校教諭)

1 はじめに

教育情報ネットワークシステムポータルサイトには、現在2種類の動画(VOD)コンテンツ教材の他、教育情報リンク等のページが用意されており、積極的な授業活用が期待されている。以下これら教育コンテンツを活用した授業実践の一部を紹介する。

2 動画コンテンツ活用の授業実践

(1) 第4学年 社会科

「山形県の主な産業」(伝統工業)

〔活用場面〕

各自の調べ学習の中で、「VOD教材Ⅱふるさと映像ライブラリー」から情報を収集した。また、児童の発表資料のひとつとして動画コンテンツを利用した。

〔児童の声から〕

「図書館で本を探す感覚でコンピュータで手軽にビデオが見られるなんてすごい」

「動きや音声・テロップなどで、写真ではわからないところもよくわかった。」

「自分の身近なところにあるのに知らなかった。今度は本物を見てみたい。」

(2) 第4学年 道徳

「わたしたちのお祭り」4-(5)郷土愛

〔活用場面〕

終末場面で補足資料として「VOD教材Ⅱふるさと映像ライブラリー」から、いくつかの伝統行事を鑑賞した。

〔児童の声から〕

「テロップでお祭りの意味や地域の人の思いがわかった。」

「たくさんの中から選んでみられるのが楽しい。」

(3) 第5学年 理科

「流れる水のはたらき」

〔活用場面〕

VOD教材Ⅰの動画を見て、川の上・中・下流の様子や、流れる水の働きを理解を深めた。

〔児童の声から〕

「何度でも繰り返し見ることができるのいい。」

「授業時間中にはいけなかったところの様子や減多に見られない事象が見られる。」

「音や動きがあり、内容をよく理解できた。」

3 教育情報リンク活用の授業実践

〔ねらい〕

情報モラルの育成

〔活用場面〕

独立行政法人教員研修センターのコンテンツ「情報モラル研修教材」を活用し、体験から学ぶシミュレーション型の授業を展開した。

〔児童の声から〕

「学習してからお姉さんがインターネットの占いに名前や血液型を入れてやっているのは危ないと思った。」

「授業をする前は個人情報はいくら流してもいいと思ったけど今は絶対だめだと思う。」

「変なメールに気をつけるようになった。」

4 おわりに

3で述べた情報モラルの授業を行うにあたって、コンテンツ活用授業の有無により学習内容の定着にどの程度違いがあらわれるか、実施学年と未実施学年による比較検証を行った。その結果、両者には顕著な差が見られ、コンテンツ利用の意義が明らかになった。

コンピュータや教育コンテンツは「使わなければならないから使う」のではなく、子どもたちにとって「使うととってもわかりやすくなるから使う」ものであるとの視点に立ち、より幅広い実践が今後積み重ねられていくことが期待される。